

Press Release

2014年5月20日
AZAPA 株式会社
dSPACE Japan 株式会社

高精度の Electric Drive シミュレーション

AZAPA 社と dSPACE による連携ソリューションが実現

2014年5月20日：自動車エンジン制御を基盤に独自のモデルベースド・テクノロジーによりパワートレイン全領域でソリューションとクルマの価値創造を提供する AZAPA 株式会社(本社:愛知県名古屋市、代表取締役社長&CEO:近藤康弘、以下「AZAPA」)と、車載制御ソフトウェアの開発環境を提供する dSPACE Japan 株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:有馬仁志、以下「dSPACE Japan」)は、自動車の安全システム分野における開発を共同で推進することに合意しました。両社は、モデルベース手法を用いた試験環境の提供、開発支援において連携ソリューションを提供します。

AZAPA の代表取締役社長&CEO 近藤康弘氏は、「自動車の発展において、多様化する機能システムをスピーディに開発するためには、モデルベース開発が不可欠となっています。商品力の向上と原価低減のトレードオフ設計において、広範囲における「見える化」と全体最適化による制御領域へのアプローチこそ、競争力を持ちます。この領域でのリーディングカンパニーである dSPACE 殿の手法と AZAPA のパワートレイン領域のコア技術でお客様の高度な要求へ応えたいと存じます。」とコメントし、dSPACE の制御システムツールの実績を高く評価しています。

dSPACE Japan の有馬仁志代表取締役社長は、「今後、お客様の広範囲なご要望にさらにお応えしていくためには、多種多様なエンジニアリングサービスが必要であると考えています。今回 AZAPA 殿との連携を行うことにより、お客様のエンジニアリングサービスの選択肢を増やすことができると信じております。まずはモデルベース開発のエンジニアリング業務より連携していきます。」と述べています。

dSPACE Japan および AZAPA は、来る5月21日(水)から23日(金)にパシフィコ横浜で開催される「自動車技術展 人とくるまのテクノロジー展 2014」に出展いたします(AZAPA:小間番号 151、dSPACE Japan: 小間番号 14)。AZAPA ブースでは、モデルベース手法により両社が開発で連携した EV 車両 AZP-LSEV が展示されます。

また、5月22日(木)14:30~15:00に AZAPA ブースにおいて、「自動車・教育・エネルギー領域におけるモデルベース開発」についての両社によるトークセッションを開催します。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

名古屋/東京、2014年5月



「MicroAutoBoxII」車載 AZP-LSEV 車両

AZP-LSEV について

AZP-LSEV は、これまで自動車開発に関わってきた経験(エンジン制御技術、シミュレーション技術、車両開発、計測技術など)を活かして、制御技術 +IT 技術の融合という従来の EV とは一線を画する AZAPA 独自の EV です。

この車両をプラットフォーム車両として活用し、社会に新しい技術の価値を創造することを目的に、新たな自動車・EV 技術、制御技術、IT との連携、ユニークな次世代の技術との融合を目指して研究開発を推進しています。

MicroAutoBox II について

MicroAutoBox II は、フルバス手法およびバイパス手法で機能プロトタイピングをすばやく実行するためのコンパクトなリアルタイムのハードウェアです。MATLAB®/Simulink®/Stateflow®モデリングツールから、本プロトタイピング環境にシームレスに統合でき、さらに、dSPACE の Real-Time Interface (RTI) ソフトウェアを使用する事によりプログラミング無しに実装できます。

MicroAutoBox II は、運転支援システム、車体制御、パワートレイン(内燃エンジン、ハイブリッド、Electric Drive など)、X-by-Wire、および航空宇宙産業などのさまざまな分野で活用することができます。

AZAPA 株式会社について

AZAPA 株式会社は、『人とクルマの調和』の実現に向け、自動車分野における制御技術をコアに、自動車分野だけでなく、エネルギー、コミュニケーション、IT の分野で事業を展開しています。自動車開発を経験した多くの研究者(博士)、エンジニアが集まり、新しいクルマの価値創造、エネルギーの最適化社会の実現を目指し、大手自動車関連企業との共同開発・技術提携により制御・計測のソフトウェア開発や ECU、テレマティクスなどで多くの実績を上げています。

特に自動車分野においては、①パワートレイン領域での圧倒的な制御技術とモデルベースド技術をプラットフォームとした V 字プロセス全体でのモデルベースドソリューション、②車両開発のコンセプトデザインからプロダクションまでの全領域における機能システムを新たに提案するフィールドエンジニアリング、③国内自動車メーカーおよび産学連携により、自動車開発におけるプラントモデル・制御モデルなどの共有プラットフォーム化とアーキテクチャー(設計思想・構造)のデファクトスタンダード化において、新たな価値を提供しています。

同社とその事業についての詳細は、WEBサイトをご覧ください。 www.azapa.co.jp

dSPACE について

dSPACE は、最新の電子制御システムの開発およびテスト用ハードウェアおよびソフトウェアツールの分野における世界的なリーディングカンパニーです。25 年以上にわたり、dSPACE の高品質なソフトウェアおよびハードウェアツールは、お客様の開発および技術革新を支援し、開発時間とコストを大幅に削減してきました。革新的な dSPACE の製品は、車載エレクトロニクス開発向けのデファクトスタンダードとなっています。dSPACE のツールは、自動車以外にも航空宇宙産業、メディカルエンジニアリング、産業オートメーション、Electric Drive テクノロジーなど、さまざまな分野で利用されており、教育機関でも技術者の育成に広く使われています。dSPACE は、ドイツのパーダーボルンにある本社をはじめ、プロジェクトセンター、子会社、販売代理店からなるグローバルネットワークを通じて、世界中で 1,200 名のスタッフが製品・サービスを提供しています。dSPACE Japan は、2005 年 9 月に設立され、2006 年 4 月より本格的な活動を開始しました。お客様への販売活動のほかに、サポート、トレーニング、エンジニアリングサービスを提供しています。詳しくは、WEB サイトを www.dspace.jp ご覧ください。

本件に関する問い合わせ先:

AZAPA 株式会社
経営戦略室/ 木村
052-221-7350
yasushi-kimura@azapa.co.jp

dSPACE Japan 株式会社
広報宣伝室
03-5798-5474
marketingkk@dspace.jp